

福岡の花と緑の情報誌

# まちとみどり

2016 秋・冬号 Vol. 31

公益財団法人 みどりをはぐくむパートナー  
福岡市緑のまちづくり協会  
Fukuoka City Greenery Association



特集  
P1

## 福岡のみどりを支える 緑のコーディネーターたち

P9 地域の森づくり活動団体紹介 「わたしの木」

P11 福岡さんぽ道 姪浜(旧唐津街道)周辺

P13 イベント&季節の見どころ

P15 第14回花と緑のまちづくり賞  
受賞団体決定!

P18 緑化助成事業 **NEW**







緑のコーディネーター  
こんな活動を  
しています！

## 福岡のたいせつな みどりを守る・増やす

緑のコーディネーターは、花壇づくりグループや自然保全活動のボランティア団体に参加し、福岡市内で見かけるたくさんのお花やみどりの維持、管理をしています。

そうした中で、リーダー、サポーター、アドバイザー、デザイナーなど、緑のコーディネーターはさまざまな役割を担い、各自が持つスキルや知識を生かしながら、福岡のみどりを守り、増やす活動に取り組んでいます。



「舞鶴公園フラワーボランティア」が管理している花壇。緑のコーディネーター6期生が中心となって立ち上げ、メンバーは約20人。水やりや苗植えなどまめに手入れをし、育苗にも取り組んでいます。



東区のアイランドシティ中央公園内にある「園芸福祉の庭」。維持管理をしている「園芸福祉ふくおかネット」の活動を支えているのも緑のコーディネーターたちです。



緑のコーディネーターの高森さんや八坂さんが参加する「福岡市立博物館フラワーボランティア」は博物館の前の花壇を管理しています。ミニ勉強会も熱心に行っています。



森づくり活動団体「ぐりんぱんだ」(城南区七隈緑地)は竹林整備などに力を入れています。過酷な作業を伴うことの多い森林保全活動ですが、ここでは緑のコーディネーター6期生らが活躍中です。

**育苗**  
種をまいて苗を育てる作業。多くの種を発芽させて立派な苗に育てるためには、想像以上に高い技術と手間が必要です。



緑のコーディネーターの山口さんが会長を務める花づくり団体「花そうかい」(博多区立花寺)が力を入れている育苗。種から育てる作業はとても楽しいので、地域の方々にも気軽に参加してほしいとのこと。



「あいランド花の会」(東区アイランドシティ中央公園)会長である中野さんご自慢の花の苗。工夫と改良を重ねながら、質の高い苗を地域に提供できるようになりました。

緑のコーディネーターは  
**花壇のデザイナー**  
としても活躍！

### スポンサー花壇

(愛称:てらす花壇)

福岡市は都心部で花と緑のまちづくりを進めるため、企業から協賛金をいただき花壇を設置しています。花壇のデザインを担当するのは、緑のコーディネーターのみなさん。地域の特性からテーマを決めるなど、さまざまなアイデアを出しながら、オフィス街の四季を花で彩っています。花壇づくりや維持管理は協会が委託した専門業者などが行い、行政、企業、市民の共働による花と緑のまちづくりが進められています。



福岡市役所  
スポンサー花壇

## 花で人の心を癒したい

世の中で起こるさまざまな問題に心を痛み、「花で人の心を癒したい」と、緑のコーディネーターになりました。活動の中心は福岡市博物館などでの花壇の手入れ。博物館には海外からのお客様も多く、みなさんを花でお出迎えする気持ちで取り組んでいます。

現役時代は環境に関わる仕事をしていたので、そのつながりから環境イベントの応援をすることもあります。みどりの活動を通じて大学生や若い人たちと関わりがもてることもやりがいにつながっています。

環境問題とみどりには密接なつながりがあるので、花やみどりの手入れでも化学肥料や殺虫剤はなるべく使わないよう心がけています。花づくりの仲間にはその気持ちが十分伝わっていると感じています。

環境にやさしい方法で  
花の手入れを



緑のコーディネーター  
たかもり としひろ  
◆高森 敏博さん(4期生)

## 花を通しての交流が生き甲斐

最近、社員のボランティア活動を応援する企業が増え、花壇の手入れをボランティア体験の場にしたいという社会人のみなさんを受け入れたことがあります。花やみどりに関する自分の知識を伝えることで、たくさんの人とコミュニケーションをとることが楽しく、いい経験になりました。

私自身、花との出会いは「ボランティア」でした。退職を機に「社会の役に立ちたい」と、こども病院で花壇の手入れを始めたのがきっかけです。そうした活動のかたわらで養成講座を受け、緑のコーディネーターに。現在は公共施設での花壇の手入れや障害者のみなさんと一緒に土作りをしています。見る人の癒しになればという思いで続けていますが、自分の健康のためにも長く活動していきたいですね。

体も動かして、  
私の生き甲斐です



緑のコーディネーター  
やまがわ あきら  
◆八坂 明さん(5期生)

## 「花そうかい」をモデルケースに

退職後、自宅の一坪程度の庭で何か育てたかったので、『市政だより』を見て夫婦ともに養成講座を受けたのが、花とみどりに関わり始めたきっかけです。講座の実習地だった博多区の立花寺リフレッシュ農園で、仲間約30人と「花そうかい」を立ち上げました。最初は花壇の手入れをしていましたが、「花苗は高い、自分たちで育てよう」と、育苗ボランティア団体という今のスタイルに。協会に頼み「園芸の基礎講座」を開いてもらうなどして、育苗について勉強しました。

花苗はもっと多くの団体に分けたいのですが、年間3,000~4,000ポットを作るのが精一杯。「花そうかい」をモデルケースに、若い人たちにも参加してもらって、各区に育苗ボランティア団体ができるのが理想ですね。

花苗づくりの  
仲間を増やしたい



緑のコーディネーター  
やまぐち たかひと  
◆山口 雅嗣さん(1期生)

## 育苗で他団体の活動をお手伝い

造園会社に勤務しており、みどりに関しては全くの素人ではありませんでしたが、養成講座を修了し緑のコーディネーターとして活動すると、花の種類や育て方など知らなかったことも多く興味深かったです。

現在は東区のアイランドシティ中央公園で「あいランド花の会」として、花壇管理と育苗を行っています。会には、緑のコーディネーターも多く、意見や要望をどんどん言ってくれるので、リーダーとして先頭に立つというより、調整するのが私の役目ですね。土作りから始めて、メンバーで試行錯誤を繰り返し、花壇もようやく形になってきました。今年3年目でやっと実をつけた植物もあり、全員で喜んでいます。花や苗の質も年々向上していて、地域や同じ活動に携わる仲間の役に立てることも嬉しいですね。

熱心なメンバーに  
恵まれ活動中！



緑のコーディネーター  
なかの しげのり  
◆中野 茂尚さん(4期生)



# 市民のみなさんに みどりを伝える

緑のコーディネーターは、「みどりの大切さ、尊さ、素晴らしさ、そして楽しさを、少しでも多くの人たちに伝えたい」という思いで、日々活動しています。みどりに関するイベントなどへも積極的に参加し、子どもから大人まで気軽に楽しめる、いろいろな内容の講座を福岡市内各地で開催しています。

## 都市緑化推進イベント

福岡市では、春の都心を花で彩る「福博花しるべ」、秋の都市緑化月間に開催する「グリッピーキャンペーン」など、さまざまなイベントが行われています。これらの催しには緑のコーディネーターも多数参加し、行政や市民団体とともに、市民のみなさんに花とみどりの魅力を紹介しています。



「グリッピーキャンペーン」イベントに向けて、種まきをし、秋に花開くまで大切に大切に育てたコスモスたち。イベント当日、来場者のみなさんに一番美しい姿を見せたいと多くの緑のコーディネーターが日々コスモスのお世話をしてきました。

緑のコーディネーターの中西さんが率いる「片江市民緑地グリーンメイトの会」はさまざまな緑化イベントの“常連さん”。体験講座の開催だけでなく、花壇デザインコンテストなどにも参加し、いつもイベントを盛り上げています。



## 市民講座

「緑のコーディネーターによる体験講座」は、市民センターや公民館などで開催しています。年間を通してこけ玉作りや自然観察会など人気の講座を数多く企画し、『市政だより』や緑のまちづくり協会のホームページで随時参加者を幅広く募集しています。



緑のコーディネーターは自然観察会のガイドやナビゲーターとしても活躍しています。舞鶴公園での観察会では、普段、何気なく通り過ぎてしまうような草地などに目を向けた、初心者にもわかりやすい解説が好評でした。

市内の小学校の留守家庭子ども会を対象に、みどりの講座を開催しています。作業がスムーズに進むように、緑のコーディネーターの仲間たちもサポートに入ります。子どもたちに「みどり」を楽しんでもらう工夫も、腕の見せどころです。



# 仲間たちと みどりを学ぶ

養成講座を修了し、いよいよ緑のコーディネーターとして正式に活動開始。活動の方法や場所などは一人ひとり違いますが、緑のコーディネーターになった後も、専門知識やスキルの向上を目指し、仲間同士で情報交換をしたり、グループで勉強会を開くなどしています。

また、協会でも、緑のコーディネーターの意見や要望をうかがい、さまざまな研修会や勉強会を開催するなど、緑のコーディネーターのサポートに力を入れています。

## 活動の中で

日ごろの活動の合間に、花壇や園芸道具の手入れ方法などのミニ勉強会を開き、スキルアップに努めています。専門知識を持つ緑のコーディネーターが講師役です。



「福岡市立博物館フラワーボランティア」のみなさん。作業後のミニ勉強会で、剪定ばさみの手入れの方法を学びました。

## 研修会で

協会ではさまざまな研修会や勉強会を行っています。花づくり、森づくり団体の活動を見学したり、市民講座の講師として分かりやすく的確に内容を伝えるための実習など、幅広い内容です。

### 研修会「油山での活動見学」

森づくり団体・油山自然観察の森「森を育てる会」の活動場所を見学し、どのように作業をしているか、どのような点に気を付けなければならないかなどを学びました。



### 研修会「講座を行うための研修会」

市民センターや公民館、小学校などで花やみどりの講座を行うための実習。講師としていかに分かりやすく受講生に伝えるか、さまざまなコツを学びました。



## やりがいのある緑化イベント

「グリッピーキャンペーン」などの緑化イベントには、毎年参加しています。会場では仲間たちと花とみどりに関するパネル展示を行い、リースづくりや寄せ植えなどの体験コーナーを設けています。ドライフラワーづくりや木の実拾いなど、10月のイベントに向けての準備は初夏から始めます。大変な作業ですが、来場するみなさんは楽しみにしてくれているので、がんばり甲斐がありますね。

日ごろは城南市民センターや片江市民緑地などで活動しています。作業中、「いつもありがとう」などと、声をかけてくださる方が多いのですが、「私もやってみたい!」という方が出てくれたら、もっと励みになります。「花が好き」という思いを共有できる人を、地域に増やしていきたいですね。

地域のみなさん、参加しませんか?



緑のコーディネーター  
なかにし ひでのり  
◆中西 秀則さん(2期生)

## 気軽に楽しめる講座を企画

養成講座修了後、緑のコーディネーターとして何かできないかと考え、市民向けの講座を初めて企画することに。私たちが年間計画を立てて、協会が広報や会場確保、企画・運営などを担当しましたが、仲間にも助けられながら慣れていきました。自分が生徒の立場だったら…と想像しながら、できるだけ安く、手に入りやすい材料で(最近では100均グッズを活用!）、分かりやすい説明と手順を心がけています。

講座ではアロマスプレーやこけ玉、アレンジメントなど、手軽に花やみどりを楽しめるものを提案しており、興味をもってもらえるきっかけになれば、とてもうれしいです。受講生から緑のコーディネーターになった人もいますよ。

花のある暮らしの魅力を  
多くの人に!



緑のコーディネーター  
にしむら あいこ  
◆西村 愛子さん(1期生)

## 一人ひとりがレベルアップを

最近、転入してくる方に「福岡市は花壇が多いですね」と言われる機会が多くなりました。緑のコーディネーター制度ができて12年、みなさんの活動が実を結んでいると思います。

一方で、個々のレベルアップの必要性も感じています。私は園芸の仕事をしているので、少しでも自分の知識を役立ててもらおうと、「指導型コーディネーター」として活動しています。花の植え方、育て方など、手探りでチャレンジしている方が多いので、専門的知識が少し加われば可能性が大きく広がると思います。

そのためにも、緑のコーディネーター同士の情報交換の場が必要ではないでしょうか? 個人レベルの交流を団体同士へ広げていくことで、全体のスキルアップにもつながると思います。

もっと情報交換を  
しましょう!



緑のコーディネーター  
しげみ くみこ  
◆砥上 久美子さん(1期生)

## これからも積極的に学び続けたい

「花が好き」という気持ちだけでチャレンジした緑のコーディネーター。専門的な事を何も知らなかった私は気後れもしましたが、講座を通していろいろな経験ができました。修了後も協会主催の緑化に関する講演を聴いたり、研修に参加したり。必要だと感じたことは前向きに取り組んでいます。特に水やりに関する研修は、取り上げてほしいテーマとして協会の方へ要望していたので採用されて良かったです。

教わったことを素直に実践することで、この6年で腕は上がったと思います。今年育てた苗が「しっかりした良い苗ね」と仲間褒められたのが嬉しい!緑のコーディネーターとして大きな活動はできていないかもしれませんが、多くを学び、たくさんの人に出会えて楽しいです。

作業後の  
お茶の時間も  
楽しみです



緑のコーディネーター  
のみやま みちこ  
◆野見山 美智子さん(4期生)







広く親しまれる水源の森を目指して  
市民緑化活動グループ「わたしの木」



福岡市の南西に位置する緑豊かな曲淵地区。夏にはホタルが飛び交う見物スポットとしても知られています。

福岡市の水源を守る森林保全活動

福岡市の中心部から車で約1時間、早良区曲淵地区は市内最古の曲淵ダムを抱え、歴史を重ねてきた水源地。満々と水をたたえたダムの周りには緑深い森林が広がります。雨水はこの土壌の中に貯えられた後、安全で安心な水道水となって私たちの暮らしを支えています。

福岡市ではそんなダム周辺の森林を計画的に整備し、水源林機能を守るための「水源の森づくり」を進めています。この活動を支えているのが、市民緑化活動グループ「わたしの木」。緑のまちづくり協会が進める「地域の森づくり活動支援事業」の助成を受けながら、森林整備に取り組んで6年目を迎えます。設立のきっかけは、平成21年度の緑のコーディネーター養成講座でした。



メンバーのほとんどが「緑のコーディネーター」。山を拠点とした緑化活動はたいへん珍しい。継続的な森林整備は高く評価され昨年、福岡市から感謝状を授与されました。

楽しく、頑張りすぎないのが継続のコツ

定例活動は月2回。山林の奥深くに入り、下草刈りや間伐、侵入の激しい竹の伐採に汗を流す皆さん。活動開始当時はほとんどが山仕事の初心者だったそうですが、今ではすっかり手慣れた様子。大切にしているのは「無理とケガのない活動」。「もう少し頑張ろうかな」の一歩手前で終わるのが長続きのコツのようです。



伐採、草刈りの道具など、手入れも入念に。



山林は急な斜面も多いので、ほとんどは機械を使わない手作業で行われます。

福岡市緑のコーディネーターとしても活躍中の廣瀬裕美子さん。養成講座の実習の多くが花壇作りや観察会だった中で、廣瀬さんたちは飯盛山の保全活動を選びました。同期の皆で汗を流してきれいな登山道ができた喜びが、山に関わるきっかけになったそうです。

「作業する皆が里山の空気を吸って、楽しかったと帰るのが一番ですね」。男性のメンバーが多い中、女性らしいきめ細やかな気遣いと優しさで慕われるリーダーです。



「わたしの木」会長  
廣瀬 裕美子さん



作業は想像以上に過酷で、竹を1本運び出すだけでも大変な労力が、安全にも細心の注意が必要です。

活動面積はなんと4万5000㎡。福岡ヤフオク!ドームのフィールド面積の約4倍にもなります。果てしなく広がる山の中、「時々気が遠くなるけれど、目の前の竹や草、一本一本と向き合ってやっています。皆の頑張りがおいしい水につながっていると信じているから」と語るのはメンバーの一人、桃井さん。元建築士で、全体の作業計画や植樹デザイン、記録などを一手に引き受けています。昨年からは本格的に植樹にも着手。緑と季節の花あふれる空間づくりを、アイデアを出し合いながら計画中です。



竹を伐採し、明るくなった山道。より多くの人に訪れてもらいたい、との思いで作業が続けられます。



虫や花との「一期一会」もこの地ならではの楽しみ。

憩い、癒しの場としての森づくりに  
チャレンジ

心と身体のリフレッシュはもちろん、四季の移り変わりを五感で感じることができるのが、山で過ごす大きな魅力です。「毎回、森に入るたびに小さな変化があり、それに気づくことが嬉しい」と廣瀬さん。この春はタケノコ、ツクシ、フキノトウ、野イチゴなど季節の恵みを分かち合いました。秋はイチョウの紅葉が楽しめます。また休憩中には、間伐材を使った木工作品を披露しあうことも。森林保全の大切さをPRしたいと、市や区のイベント出展やワークショップを企画し、コケ玉づくりや木工体験を通じて積極的に情報を発信しています。

これから目指したいのは、曲淵を「人が集まる水源の森」にすること。レクリエーションが盛りだくさんの憩いの場として、また水を育む森の大切さを学ぶ場として多くの人に訪れてもらえるよう、「わたしの小径」と名付けた登山路づくりや植樹に力を入れていきます。これまでの保全活動からステージアップし、人が集い憩う森づくりへ。将来へ描くイメージは着実に実現への道を進んでいます。

緑の活動支援事業



市民の皆さんで結成された団体が自主的に取り組む緑化活動を育成・支援する事業です。緑の普及啓発、地域の環境改善、地域コミュニティづくりなどを目的としています。

地域の花づくり

市内にある公共用地や空地などにおいて花壇づくりを行う活動で、花壇などの面積が10㎡以上のもの。

助成金	認定後5年間/年間1㎡あたり2,000円 上限20万円
	認定後6年目以降/年間1㎡あたり1,000円 上限10万円

地域の森づくり

市内にある樹林地などの保全管理を行う活動で、活動区域の面積が300㎡以上のもの。

助成金	認定後5年間 上限20万円
	認定後6年目以降 上限10万円

問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL 092-822-5832



# 福岡さんぽ道

通りに咲く花、新しいお店…。散歩でいろいろ発見してみよう!



かつお節の香ばしさと削り機の音は懐かしさを感じます。旧唐津街道の商店街を支える削り節専門店。



旧唐津街道から細い路地に入った場所にはこんなカフェが。人気のワイヤープランツなどの洗練されたグリーンと古民家の落ち着いたたたずまいがベストマッチ。



## 姪浜(旧唐津街道)周辺

江戸時代に宿場町として栄えた西区姪浜地区は、当時の面影を感じさせる街並みが広がり、歴史風情あふれるエリアとなっています。伝統的な家屋を利用したショップやカフェも多く、その魅力がさらに高まっています。

### おすすめスポット 旦過だるま堂

**僧侶が旅の体を休めた場所**  
かつて興徳寺の旦過寮(旅の僧を宿泊させてもてなしたところ)があった場所。中国の禅宗の開祖、達磨大師をまつっています。堂内の銅造塔婆型厨子は市指定文化財です。



姪浜当方公園



姪浜2号公園



住吉神社の向かいにある小さなフレンチレストラン。窓際のおしゃれなグリーンのアレンジと鮮やかな緑の外観がひととき目を引きまします。

### おすすめスポット 住吉神社



**地域を見守る航海安全の神様**  
天平時代に創建され、この地一帯を守る氏神様。正月の玉せせり、夏の輪越し祭り、秋のおくんち等は姪浜の風物詩です。樹齢700年の御神木(銀杏)は、海に近いこの地で漁船のための目印となり、この大木を目標に港へ向かったといわれます。



除災招福の神の使いとされる河童の像



保存樹

雷が落ちた時にこの銀杏が避雷針となり、身代わりになって本殿を守ったという言い伝えも

### おすすめスポット 探題塚



### 元寇に備えた国防の要

弘安5年(1282年)、鎌倉幕府が元軍の来襲に備えて探題を置いた場所。後の室町時代には、九州平定のための「九州探題」が置かれました。市の保存樹、タブノキがひっそりと立っています。



保存樹

タブノキは万正寺のお堂が建てられていた場所にあったが、お堂の移設によって今はこの地に

名柄川

姪浜5丁目

明治通り

姪浜駅北口

姪の浜2丁目

内浜小

姪浜駅西

筑肥線

地下鉄姪浜駅

地下鉄空港線

西区役所

### おすすめスポット 興徳寺

### 大樹に囲まれた静かな古刹

北条時定が建立し、後に宗から帰国した南浦紹明(大応国師)が開山した禅宗寺院。寺に所蔵される国師の肖像は徳治2年(1307年)に弟子に与えられたもので、国指定重要文化財です。本堂前で迎えてくれる大楠が印象的。赤松、黒松など古木も多く、紅葉の名所としても知られています。



黒松と赤松



趣ある博多塙



大楠と本堂



### 駅モニュメントにまつわる伝説とは?

姪浜駅南口、ひときわ目を引くのが、ウサギと青い波のモニュメント「ドラゴン・キング・ラビッツ」。この地に伝わる「龍王うさぎ伝説」にちなんでいます。

### 「龍王うさぎ伝説」とは

その昔、宋の国で学問を修めた僧(のちに興徳寺(左ページ参照)を開いた大応国師)が帰国の途中、雪深い山中でオオカミに追われていたウサギを助けて船に乗りました。その途中で暴風雨にあい、船が難破しそうになったとき、ウサギが現れて海に身を投げると、不思議なことに波が鎮まり、一行は無事に姪浜の港へ着いたのです。空を見上げるとウサギが金色に輝いて舞い上がり、龍王の姿になって天に消えていきました。

### 協会活動団体

### ウェルカムガーデン 姪浜駅南

姪浜駅南口前の花壇を管理。年間を通して花苗の補植、追肥、灌水、花がらつみ、除草などを行い、道行く人が楽しくなるような、花とみどりに満ちあふれた街づくりを進めています。  
●活動場所/西区姪浜駅南



### 知っていますか?福岡の保存樹

街中にある緑を将来にわたり保全することを目的に、一定の基準を満たす私有地の木を「保存樹」として指定しています。福岡市は保存樹の数が、政令市の中で全国1位なのです。





# イベント&季節の見どころ

## イベント

### 10月

#### 博多の森グランドカーニバル2016 8日(土)・9日(日)

東平尾 日頃から「博多の森」を利用しているアスリート、大会運営者らが一堂に会し、博多の森で「お祭り」を開催します。特設コートを作り、初心者・子どもたちを対象に、テニスの基本的な打ち方や動作を学ぶ「Play&Stayテニス」も8日(土)のみ開催。自由に参加できるので、この機会にテニスの楽しさに触れてみてはいかがでしょうか？



#### 博多の森テニス教室

東平尾 10月12日～11月30日 全6回(毎週水曜)11月2、23日を除く

博多の森テニス競技場で、中級経験者の方を対象にテニス教室を開催します。基本技術を踏まえ、試合で勝利するためのテクニックをマスターしましょう。



#### グリッピーキャンペーン(西広場) 15日(土)・16日(日)

舞鶴 緑に関わる活動をしている団体がいろいろな催しでおもてなします。会場を彩るコスモスもお楽しみください。



#### 動物フェスティバル(西広場) 30日(日)

舞鶴 犬や猫の適正な飼い方や飼育マナーなどを教えてもらいます。また、犬と飼い主が参加できるゲームもあります。



### 11月

#### 秋の公園であそぼう(西広場) 3日(木・祝)

舞鶴 シャボン玉や木の実を使った遊びなど、公園でいろいろな遊びを体験できます。大人も子どもも秋の公園で思い切り遊びませんか？

#### 東平尾公園 キノコ観察会 5日(土)

東平尾 「キノコの世界をのぞいてみよう！」と題し、初心者向けのキノコの観察会を行います。福岡キノコの会の方を講師に招き、東平尾公園内を散策します。



#### 健康づくりフェスタ(舞鶴公園・大濠公園) 19日(土)・20日(日)

舞鶴 鴻臚館広場で健康づくりに関するさまざまな催しが行われます。事前申し込みで参加できる「のびのびウォーク」など、盛りだくさんの内容です。



## 舞鶴&東平尾公園 季節の見どころ

### 10月 どんぐり(舞鶴)

舞鶴公園にはいろいろなどんぐりのなる樹木があります。10月にはたくさんのどんぐりが落ち、子どもたちが拾いに来てくれます。



### 秋桜(舞鶴)

舞鶴公園西広場で10月に行われる都市緑化イベント「グリッピーキャンペーン」の会場を彩るため、コスモス畑が出現します。天神から徒歩20分の便利な立地でコスモスを楽しめる貴重な空間です。

### 11月



### 黄葉(舞鶴)

イチョウの大木が多い舞鶴公園。黄色に色づいた黄葉が地面に広がる様子は圧巻です。

### 紅葉(舞鶴)

紅葉といえばやはりカエデです。12月近くなると、真っ赤に色づくカエデの葉が園内各所で見られます。



### 12月 冬鳥(舞鶴)

舞鶴公園のお濠端には多くの種類の野鳥が訪れます。冬を日本で過ごす水鳥が見られ、観察に訪れる人も多いスポットです。



### 1月



### 水仙(舞鶴)

舞鶴公園にはいろいろなところでスポット的に水仙が咲きます。中でも牡丹芍薬園のあたりには群生していて、花の時期になると、名島門から西広場に抜ける園路沿いに水仙の香りが漂います。

舞鶴公園、東平尾公園では楽しいイベントが盛りだくさん。

季節の移り変わりが感じられる、旬の見どころもいっぱい입니다。ぜひ、おでかけください！

イベントは天候などにより変更や中止になる場合があります。確認の上、おでかけください。

### 12月

#### 福岡国際マラソン(平和台陸上競技場) 4日(日)

舞鶴 毎年恒例の福岡国際マラソン。舞鶴公園にある平和台陸上競技場は、スタートとゴール地点になっていて、その様子をスタンドから自由に見学できます。



### 2月

#### スポーツターフ研修会 中旬

東平尾 芝生管理に携わる方々を対象に、芝地・芝草の研修会を行います。



#### うめCafé(梅園) 下旬

舞鶴 厳しい寒さの続くなかで梅の花が咲き乱れる2月の舞鶴公園。温かいほうじ茶とおいしいお菓子でゆっくりくつろぎながら、梅の花をご覧ください。



#### 親子で芝生教室&バックヤードツアー 下旬

東平尾 レベルファイブスタジアムのピッチなどを見学し、芝生の管理について学んでみませんか？

### 3月

#### 博多の森ラン2017 11日(土)

東平尾 博多の森陸上競技場とその周辺を楽しく走ってみませんか。上位入賞者には賞品もあります。

#### 福岡城彩発見フォトコンテスト入賞作品展示(三の丸スクエア) 3月上旬～5月下旬

舞鶴 舞鶴公園(福岡城跡)で撮影された写真を対象としたフォトコンテストの入賞作品展です。写真に込められた撮影者の想い、舞鶴公園の魅力をお楽しみください。



#### 福岡城さくらまつり 下旬

舞鶴 1,000本の桜が咲き誇る舞鶴公園。さくらまつり期間中は、夜桜がライトアップされ、昼夜問わずお花見を楽しめます。



### 梅(舞鶴)

厳しい寒さが続く時期ですが、暦の上では立春を迎え、梅園では梅の花が咲く風景をお楽しみいただけます。



### 桜(東平尾)

東平尾公園内に約1,600本の桜があります。ヨウコザクラは大谷広場駐車場の周りにあり、ソメイヨシノ、オオシマザクラなどはまた違った魅力で楽しめます。



### 雨情枝垂(ウジョウシダレ)(東平尾)

陸上競技場前に3本だけひっそりと、でもその存在感を存分に楽しむことができる、エドヒガン的一种「雨情枝垂」。詩人の野口雨情が住んでいた邸内(栃木県宇都宮市)に植えられていた桜で、野口雨情を記念して名付けられた桜です。



### 3月



### 桜(舞鶴)

舞鶴公園に約1,000本ある桜は、品種が20種類ほどあります。早咲きものから遅咲きものまで約1か月間の開花リレーが楽しめます。



### 菜の花(舞鶴)

春の訪れをいち早く知らせてくれる菜の花は、西広場を明るく彩ってくれます。日差しも暖かくなってくる時期なので、ピクニックに訪れる方々にぎわいます。



### 雪(舞鶴)

福岡では雪はめったに積りませんが、石垣や多聞櫓などに積もった風景は一見の価値あります。



# 花と緑のまちづくり賞 受賞団体決定!

福岡市緑のまちづくり協会では、これまで「花と緑のまちづくり賞」として、民有地の優れた緑化事例の表彰を行ってまいりましたが、今回賞の内容を見直し、花と緑のまちづくり活動に顕著な功績があり、市民共働のまちづくりに積極的に取り組む団体を表彰することといたしました。

審査にあたっては良好な環境づくりに加え、他の模範となる活動について、書類による予備審査、現地およびヒアリング調査を行い、平成28年8月25日の最終審査の結果、本年度の受賞団体が決定しました。



## 総評

この度初めて「花と緑のまちづくり賞」の審査に参加させていただきましたが、審査地を巡って強く感心させられたことがあります。それは、それぞれの活動が地域や地区のことを思っている自主的なものであったことです。

また、それぞれの活動により街並みが花で彩られたり、地域の自然が保全・活用されたり、市民がその恩恵を享受していました。このことは、実は花や緑をまちづくりに生かす根源的な事柄なのです。せっかく花壇づくりをしても、あまり気づかれず人にも花を見てもらえなければ、その花壇の価値は半減してしまいます。ですから多くの人に見てもらえる場所での花壇づくりは、共有するという点で重要なのです。

また、地域に昔からあった森は、その地域に住む人々とともに生まれ、共生してきました。これを多くの市民が関与して保全し、将来に引き継ぐこともとても意義深いことです。

これらが複数の市民団体で実践され、継続していることが確認できました。今回受賞に至らなかった皆さんも、受賞者の活動を模範に福岡市を花と緑で素敵なまちにしてください。



審査委員長 和田 博幸  
(公益財団法人日本花の会  
花と緑の研究所 主任研究員)



審査委員会による現地審査



## 最優秀賞

### 油山自然観察の森「森を育てる会」



油山自然観察の森「森を育てる会」のみなさん

- 活動場所／南区松原(油山自然観察の森) 40,000㎡
- 結成／平成7年
- 会員数／50人
- 活動頻度／月2回
- 活動の目的／油山自然観察の森の保全活動を通じ自然に親しみ親睦を図ることを目的としています。カブトムシの森整備保全・アカマツ林保全・竹侵入地保全整備のほか、自然観察ハイキングや外部講師による勉強会・安全講習会などを開催。

## 評価された点

### 明確なビジョンに基づいた意欲的な活動

会で策定した五か年保全計画に基づき、カブトムシの森とアカマツ林の除間伐、下草刈り、落ち葉かきなどの作業に加え、植生調査、成木調査、幼木調査、昆虫調査など、市民による里山管理活動としてボランティア活動の域を超えた幅広い活動が特長です。

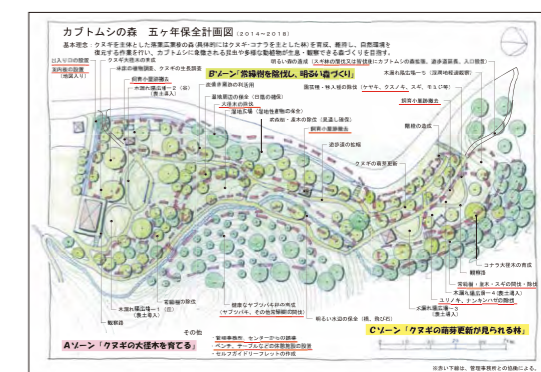
運営面では年4回のうん・えー会で運営方針や問題点の洗い出しを行うなど、会員内での意見交換が活発に行われ、会員が運営方針、目的を共有しています。

情報発信面では、HP、SNSなどの活用のほか、活動内容を詳細に取りまとめた会報『森ものがたり』を年4回発行。また市民を対象とした木工教室、観察会を開催し、森の楽しさを伝える取り組みも行っています。

さらに安全世話役を設け、計画書の安全対策の確認や年間計画で決めた安全講習会を実施し、伐採、除草の手順、安全対策、危険な動植物への対処法、救急救命などの講習会を行うなど、安全管理面においても高く評価されました。



除伐作業



カブトムシの森 五か年保全計画図



森を育てる会  
ハンドブック

会報『森ものがたり』

森ものがたり特別記念号  
『わたしたちの12年の歩み』



活発な会員交流



優秀賞

## 泉東町内会花壇愛護同好会（ひょうたん池花クラブ）



泉東町内会花壇愛護同好会のみなさん

### 評価された点

#### 花の持つ社会性が発揮されている活動

週1回の活動により、ひょうたん池の周辺に地域の憩いの場となる良好な水辺空間が創り出されています。

会で取り組む「ひょうたん池祭り」や、独居高齢者を対象とした「せんだんふれあい会」により、地域住民の交流の輪が広がっています。花の持つ社会性を生かし、地域コミュニティの活性化を図る活動が評価されました。

- 活動場所／西区泉2丁目5（中牟田池）100㎡
- 結成／平成16年
- 会員数／15人
- 活動頻度／週1回
- 活動の目的／自然共生型ため池である中牟田池の良さを活かして、地域住民の憩いの場として親しまれるよう、四季折々の花を咲かせ、快適な環境の維持管理を行うと同時に、この活動を通じて地域住民の触れ合いの輪が広がることを目的に活動。



ひょうたん池まつり



せんだんふれあい会

優秀賞

## はかた花と緑の会



はかた花と緑の会のみなさん

### 評価された点

#### 女性による企画、実践、発信力のある活動

どんたく、山笠などを通じさまざまな形で博多のまちづくりに取り組んでいる団体が協力して作業にあたり、女性が中心となって花と緑があふれる大博通りにしようと、長年積極的に活動しています。

また、博多小学校の児童、水サポーターとして企業を花づくり活動へ引き込むなど、企画力と実践力が評価されました。



子どもの参加



会報『フラワーレター』

- 活動場所／大博通りフラワーポット77基、歩道植栽帯、地下鉄出入口花壇 78㎡
- 結成／平成8年
- 会員数／50人
- 活動頻度／月1回
- 活動の目的／「博多のまちづくり」に取り組んでいる団体（博多部4校区自治連合会、博多区花いっぱいふれあい会、博多ごりょんさん・女性の会、博多大博通りクラブ）、子供会、博多小学校3年生が、「花と緑あふれる博多部の実現」を目指して発足。

平成28年度 緑化助成事業のご案内

緑のまちづくりを進めるため、

# 民有地緑化に助成します!

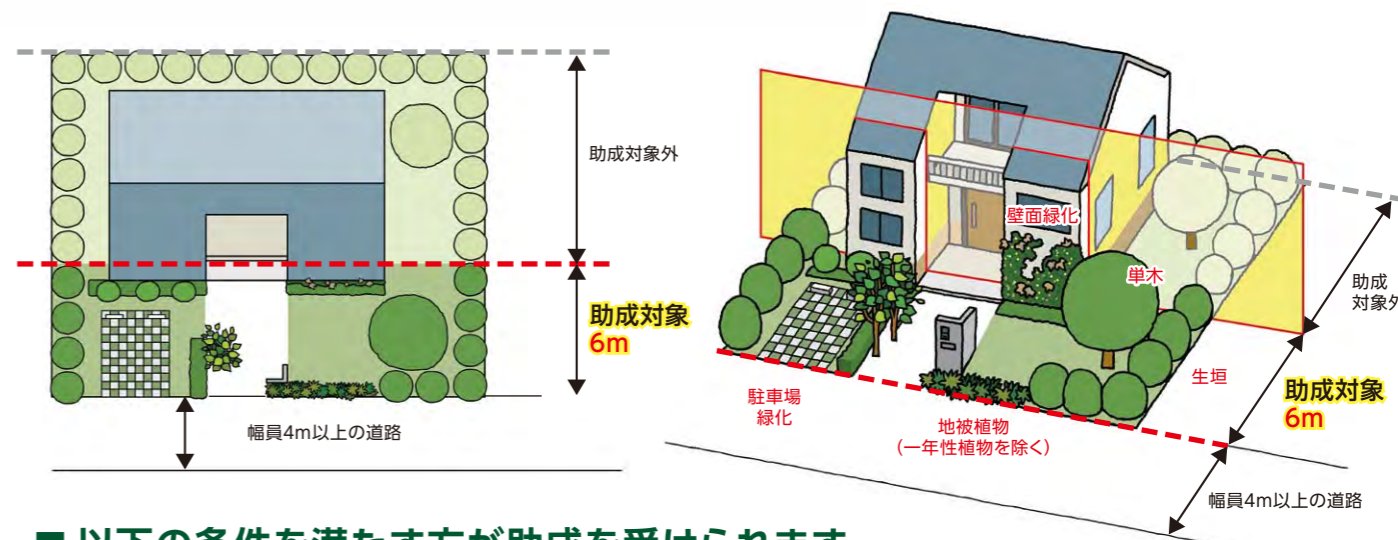


緑化助成事業は、緑あふれる街並の形成を目的として、道路から見える緑化の施工費用の一部を（公財）福岡市緑のまちづくり協会が助成する事業です。

### 助成の対象

道路から見える緑化（単木、生垣、地被植物、駐車場緑化、壁面緑化）

道路境界から6m以内の場所に新たに行う緑化で、緑化面積が5㎡以上あること



### 以下の条件を満たす方が助成を受けられます

- 福岡市内の民有地であること（販売等を目的とした緑化事業は対象外とします）。
- 申請時に未着工で同一年度内に完成するもの。
- 本助成事業以外の助成を受けていないこと。同一の敷地において、すでに本助成事業を受けていないこと。
- 法令等により緑化を義務づけられている場合は、その基準を超える部分の緑化を助成の対象とします。

### 助成金額

道路境界から6mの範囲内の緑化施工費用の1/2に相当する金額を助成します（千円未満切り捨てとします）。

ただし1㎡当たり1万円を限度とします。

助成金の上限は30万円です（既存のものを流用する場合の材料費や、工事を申請者自らが行う場合の工事費は対象外とします）。

#### 助成対象となる緑化施工費用

- (1) 植物及び土壌、肥料、支柱等の材料費
- (2) 緑化工事費
- (3) 基盤造成及び灌水施設等の材料費及びその工事費
- (4) 壁面緑化の誘引資材の材料費及びその工事費
- (5) (1)から(4)を対象とする諸経費

※詳細は、下記ホームページをご確認ください。 ※助成は予算の範囲内で先着順とします。

問い合わせ 公益財団法人 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課企画推進係

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-3-26 TEL092-822-5832

ホームページ <http://www.midorimachi.jp>

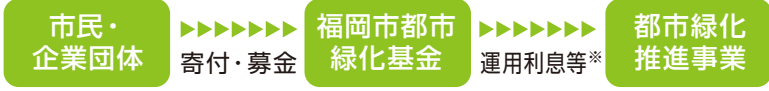




## 花と緑につつまれたまちづくりを支える 福岡市都市緑化基金

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民のみならず民間企業からいただいた寄付金を積み立て、その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。

### 基金のしくみ



※福岡市都市緑化基金の運用から生ずる収益金および目標額を超える寄付金等

### 基金で取り組む事業

基金の運用利息等を財源として民有地の緑化を推進するために、次の事業に取り組んでいます。

- 緑化助成事業 (民有地緑化の助成)**
  - ・道路境界から6mの範囲内の緑化に対する助成
- 緑の活動支援事業 (緑化活動団体の支援)**
  - ・地域の森づくり助成
  - ・地域の花づくり助成
- 都市緑化の普及啓発**
  - ・花と緑のまちづくり賞
  - ・花と緑のまちかど写真コンテスト
  - ・グリッピキャンペーン
  - ・広報物発行等

詳しくは協会ホームページをご覧ください。

### 寄付・募金のお願い

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

### スポンサー花壇事業のご案内

福岡市では、都心部における花のおもてなしのまちづくりを進めるため、企業のみならず市民から福岡市都市緑化基金へ寄付をいただき花壇を設置する「スポンサー花壇(愛称:てらす花壇)」事業を展開しています。現在、10団体よりご協賛いただき、天神や博多に「スポンサー花壇」を設置しております。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。  
【問い合わせ】  
福岡市みどり推進課 ☎092-711-4424  
福岡市スポンサー花壇



**寄付金の税控除について**  
「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税額控除の適用が受けられます。(手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください)

**募金についてのお申し込み・ご相談は** (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係  
**TEL:092-822-5832**



公益財団法人 **みどりをはぐくむパートナー**  
**福岡市緑のまちづくり協会**  
Fukuoka City Greenery Association

協会のホームページ  
<http://www.midorimachi.jp>

- ☐総務課 TEL 092-822-5831
- ☐みどり課 〒814-0001
  - ☐企画推進係 TEL 092-822-5832 福岡市早良区百道浜二丁目3番26号(福岡タワーセンタービル2F)
  - ☐街路樹係 TEL 092-822-5845 FAX 092-822-5848
- ☐公園管理事務所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園二丁目1番2号
  - ☐博多の森陸上競技場 TEL 092-611-1515 FAX 092-611-8988
  - ☐博多の森テニス競技場 TEL 092-611-1544 FAX 092-624-6161
  - ☐レバルファイブスタジアム TEL 092-612-7070 FAX 092-612-6996
- ☐舞鶴公園管理事務所 〒810-0043 福岡市中央区城内1番4号  
TEL 092-781-2153 FAX 092-715-7590

「まちとみどり」は福岡市都市緑化基金の運用利息等により発行しています。